

## 完了後の評価個表

整理番号	5
------	---

事業名	森林環境保全整備事業	都道府県	岩手県
地域（地区）名	きたかみがわじょうりゅう 北上川上流	事業実施主体	県、市町、森林組合、森林所有者等
関係市町村	もりおか 盛岡市ほか5市町	管理主体	県、市町、森林組合、森林所有者等
事業実施期間	H23年度～H27年度（5年間）	完了後経過年数	5年

事業の概要・目的	<p>本地域は、県のほぼ中央部に位置し、東は北上高地、西は奥羽山脈で秋田県と接し、その中間に北上川流域の平坦地を有する1市4町1村を包括する地域である。</p> <p>本地域の森林面積（164,077ha）のうち民有林面積は、約6割にあたる102,212haで、人工林面積は、45,450ha、人工林率は44%となっている。</p> <p>人工林の齢級構成は、Ⅷ齢級をピークにⅦ～Ⅻ齢級が全体の72%を占めているなど、森林資源が成熟しつつあるものの、間伐が必要なⅣ～Ⅸ齢級の森林が50%を占めており、健全な森林を育成していくうえでも間伐等の森林整備が必要となっている。</p> <p>しかしながら、近年、採算性の低下や森林所有者の経営意欲の減退により、手入りが遅れた森林が増加するなど、水源涵養<sup>かん</sup>などの公益的機能の発揮に支障をきたすおそれがある。</p> <p>このような状況を踏まえ、計画的かつ効率的な森林整備が求められており、地域を担う森林組合の意欲と実行力を有する林業事業体による施業の集約化を促進する必要がある。</p> <p>このため、本地区内の森林が有する水源涵養機能や山地保全機能などの公益的機能を発揮するために必要な造林や間伐などの森林整備を積極的に推進するとともに、これらを効率的に推進するための路網整備を実施したものである。</p> <p>・主な事業内容</p> <p style="margin-left: 40px;">森林整備 5,672 ha</p> <p style="margin-left: 80px;">人工造林、下刈り、枝打ち、除伐、間伐、更新伐、森林作業道等</p> <p style="margin-left: 40px;">路網整備 1,784 m</p> <p style="margin-left: 80px;">林道開設</p> <p>・総事業費 1,828,450千円（税抜き1,717,894千円）</p> <p style="margin-left: 40px;">（平成22年度の評価時点 1,033,455千円（税抜き 984,243千円））</p>
----------	---

① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>令和3年度時点における費用便益分析の結果は、次のとおりである。</p> <p>事前評価で算出した総便益及び総費用と完了後の評価で算出した総便益及び総費用との差異については、労務・資材単価の上昇や優先度の高い箇所から実行するよう</p>
-------------------------	--

	<p>計画を見直したことに伴う事業量の変更等によるものである。</p> <p>総便益（B） 37,042,963 千円（平成 22 年度の評価時点 6,217,620 千円※）          総費用（C） 6,316,299 千円（平成 22 年度の評価時点 1,891,004 千円※）          分析結果（B/C） 5.86（平成 22 年度の評価時点 3.28※）</p>
② 事業効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・造林及び保育等によって 5,672ha の森林を整備し、水源涵養、山地保全、地球温暖化防止など森林の有する公益的機能の維持増進が図られた。</li> <li>・林道（延長 1,784m）の開設により、森林施業実施箇所までのアクセス時間が短縮され、施業の効率化が図られるとともに、大型トラック等の車両が通行可能となったことにより、木材生産・運搬の効率化が図られた。</li> <li>・森林整備、路網整備事業の実施により、雇用創出など地域経済の振興に貢献した。</li> </ul>
③ 事業により整備された施設の管理状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備した森林は、継続して適切に管理され、良好な管理状況にある。</li> <li>・整備した路網は、適切に維持・管理されている。間伐等の事業を実施する際は、草刈りによる視距の確保、排水路の埋塞土砂の撤去や砂利路面の整備等が施工され、維持管理状況は良好である。</li> </ul>
④ 事業実施による環境の変化	<p>適切な森林整備により健全な森林が形成され、水源涵養、山地保全、木材等の林産物の安定供給等森林の多面的機能が発揮されている。</p>
⑤ 社会経済情勢の変化	<p>林業の現場では、高性能林業機械を含む機械作業システムの導入が進み、林道や森林作業道等の路網との組合せにより効率的な森林施業が実施可能となっている。戦後造成された人工林の多くが本格的な利用期を迎えている中、林業の成長産業化を実現させるため、豊富な森林資源を利用しながら、地域材の需要創出や安定供給体制を構築することが急務となっている。</p>
⑥ 今後の課題等	<p>森林の有する公益的機能の維持増進を図るとともに、主要樹種であるスギ、カラマツの人工林を中心とした木材を安定的に供給するため、効率的かつ効果的な森林整備及びその実施に必要な路網を着実に整備する必要がある。</p> <p>主伐箇所は、伐採と造林を一体的に行う一貫作業システムを積極的に導入するとともに、コンテナ苗植栽や下刈等の保育作業を省力化するなど、低コスト化を一層推進する必要がある。また、ニホンジカによる造林地の食害や松くい虫被害・ナラ枯れ被害等が発生しているため、森林被害の防止対策に取り組む必要がある。</p> <p>このため、民国連携を図りながら、実証された低コスト技術の共有や、低コスト化に資する技術の開発・確立に取り組み、併せて試験研究機関等の関係機関と連携してニホンジカや松くい虫等による森林被害の防止対策に取り組む必要がある。</p> <p>地元からの意見：</p> <p>（盛岡市）</p> <p>森林の有する多面的機能が持続的に発揮されるため、計画的な施業の実施が必要であるが、当該事業の活用により森林の整備が着実に実施されていると認識している。今後とも主伐・再造林・保育を実施し、森林の有する多面的機能の十分な発揮に資する持続的な森林経営に取り組みたい。</p> <p>（雫石町）</p>

	<p>森林のもつ多面的機能について、社会全体の関心度が増し、地球温暖化の防止や治山治水機能など環境保全に対する森林が果たす役割とその重要性について認識が高まっているなか、今後とも主伐・再造林・保育といった施業はもとより、林業経営意欲の啓発となる取組を推進していきたい。</p> <p>(岩手町)</p> <p>森林整備事業実施による土砂流出の防止、水源涵養機能等の公益的機能・多面的機能の高度発揮に寄与している。</p> <p>(滝沢市)</p> <p>事業の実施により森林の整備が行われることで、主伐・再造林・保育といった循環を促進し、森林の有する多面的機能の発揮に寄与している。今後も継続して森林所有者に対して積極的な森林整備を働きかけていきたい。</p> <p>(紫波町)</p> <p>森林の多面的機能を持続的に発揮するためには、その場所に適した多様な樹種、林齢の構成が重要であり、人工林の管理においては木材利用面からも齢級構成の平準化も必要となっている。森林整備事業を活用した路網等基盤整備とともに、高齢級の人工林については伐採と更新を行うことでその機能を発揮する森林整備が進んでいる。</p>
<p>評価結果</p>	<p>必要性： 本事業は、森林の有する公益的機能の持続的な発揮に資する事業であり、事業の実施を通して生産されたカラマツ等の木材を安定供給することによって、地域の林業・木材産業の振興に貢献しており、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性： 効率的な森林整備作業システムの定着や集材効率の悪い箇所への路網の開設等により、コスト縮減が図られており、費用便益分析の結果からも事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性： 森林計画に即した森林整備の実施により、森林の有する公益的機能が持続的に発揮され、また、整備した路網を活用した木材の安定供給が図られており、引き続きその効果が発現されると見込まれることから、事業の有効性が認められる。</p>

※平成 22 年度評価時点における数値については、消費税を含んだ数値である。

## 便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：岩手県

地域(地区)名：北上川上流きたかみがわじょうりゅう

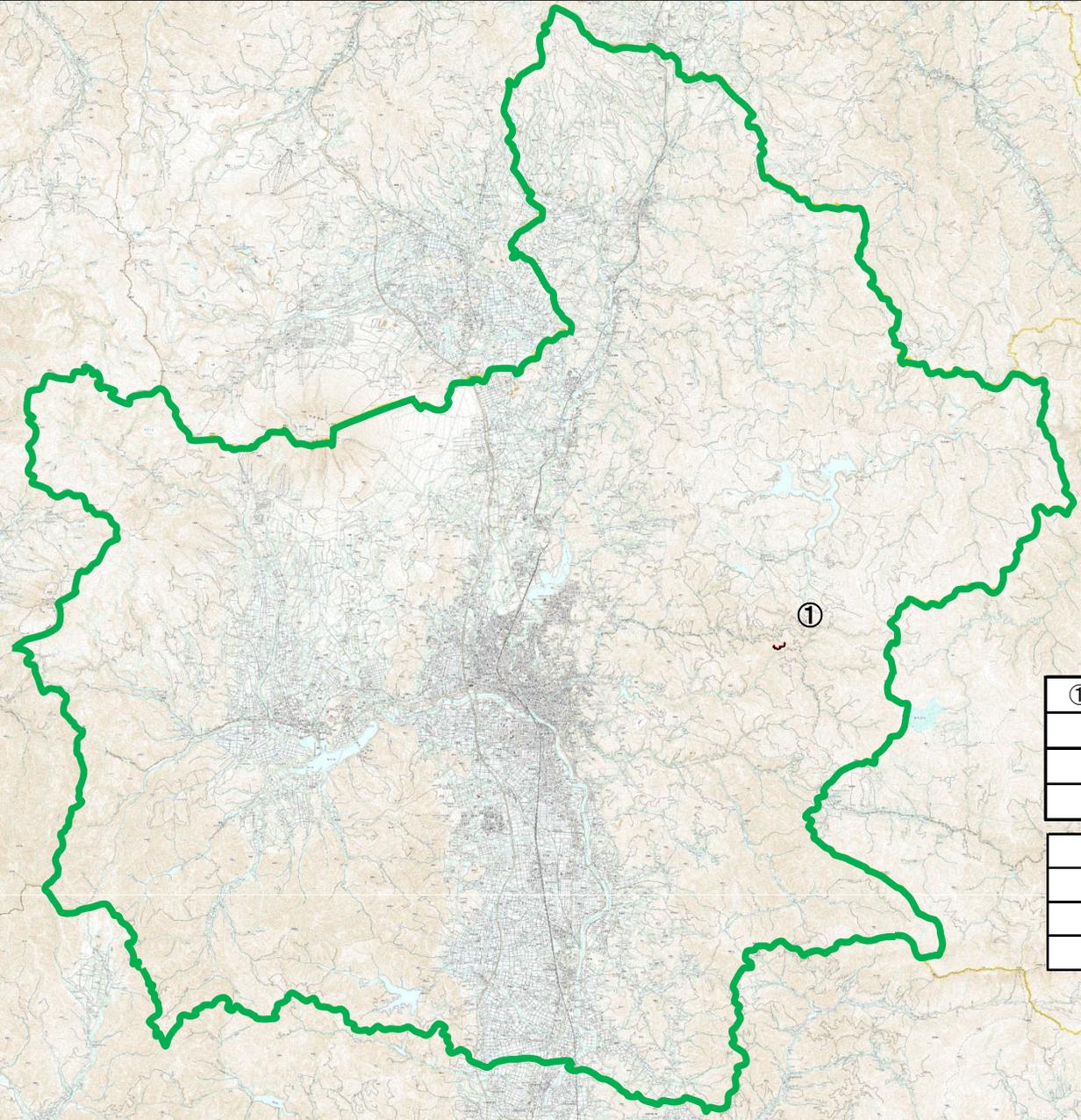
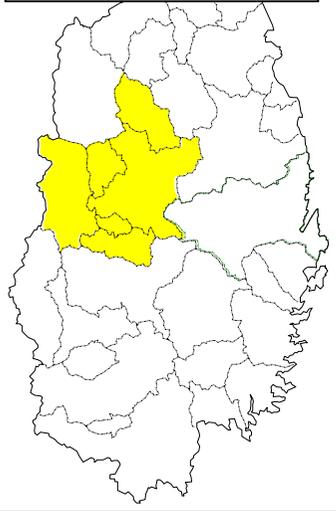
(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	7,700,440	
	流域貯水便益	2,433,639	
	水質浄化便益	9,018,049	
山地保全便益	土砂流出防止便益	8,172,076	
環境保全便益	炭素固定便益	5,527,735	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	4,041,305	
森林整備経費縮減等便益	森林管理経費等経費縮減便益	16,326	
	森林整備促進便益	133,393	
総 便 益 (B)		37,042,963	
総 費 用 (C)		6,316,299	
費用便益比	$B \div C = \frac{37,042,963}{6,316,299} = 5.86$		

森林環境保全整備事業 北上川上流地域（岩手県）概要図

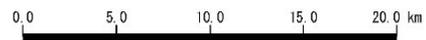


北上川上流地域



①	林業専用道笹ツ尾線

凡例	
計画区堺	
施工箇所	
施行済み	



1:380000

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用した。  
(承認番号 平25循使、第72-GISMAP31783号)